

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	哲学（Philosophy）					担当教員	鈴木 覚 （スズキ サトル）		
科目コード	131022-14000								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講 期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
哲学は本来「学ぶもの」というより「する」ものである。哲学を勉強しなくても、哲学することはできる。ただ、勉強して様々な考え方を学んだ方が、自分で哲学するとき役立つ。この授業では、西洋の古代哲学から現代哲学までを概観し、自分で哲学的に考えていくための様々な「思考のツール」を学ぶ。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力を養う。
③ 授業の進め方・指示事項
主に講義形式で授業を進める。毎回授業の最後に、次回小テストに向けた課題を出す。翌週の授業の最初に、前回の課題に関する小テストを行う。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし。
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i) 哲学の基本概念を理解できるようになること。 (ii) 哲学の基本概念を用いて哲学上の諸問題について論述できるようになること。
⑥ テキスト（教科書）
貫成人(2008)『図説・標準 哲学史』新書館
⑦ 参考図書・指定図書
羽野幸春(2010)『詳解 倫理資料 新訂版』実教出版

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 基本概念の理解	30%	20%				30%		80%
(ii) 基本概念を用いた論 述	20%							20%
フィードバックの方法	小テストは、用紙回収後に解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
教養は人生を豊かなものにします。社会に出ると教養の勉強をする時間を確保するのは難しくなるので、学生時代のうちにしっかりと勉強しておきましょう。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	導入とソクラテス	筆記用具	ソクラテスの復習とプラトンとアリストテレスの予習	60分
2	プラトンとアリストテレス	筆記用具	プラトンとアリストテレスの復習と大陸合理論の予習	60分
3	大陸合理論	筆記用具	大陸合理論の復習とイギリス経験論の予習	60分
4	イギリス経験論	筆記用具	イギリス経験論の復習とカント（コペルニクスの転回）の予習	60分
5	カント（コペルニクスの転回）	筆記用具	カント（コペルニクスの転回）の復習とカント（知と信）の予習	60分
6	カント（知と信）	筆記用具	カント（知と信）の復習とヘーゲルの予習	60分
7	ヘーゲル	筆記用具	ヘーゲルの復習とマルクス（疎外論）の予習	60分
8	マルクス（疎外論）	筆記用具	マルクス（疎外論）の復習とマルクス（物象化論）の予習	60分
9	マルクス（物象化論）	筆記用具	マルクス（物象化論）の復習とハイデgger（存在の意味への問い）の予習	60分
10	ハイデgger（存在の意味への問い）	筆記用具	ハイデgger（存在の意味への問い）の復習とハイデgger（死の先	60分

			駆) の予習	
11	ハイデッガー (死の先駆)	筆記用具	ハイデッガー (死の先駆) の復習とフーコー (狂気の歴史) の予習	60 分
12	フーコー (狂気の歴史)	筆記用具	フーコー (狂気の歴史) の復習とフーコー (規律・訓練) の予習	60 分
13	フーコー (規律・訓練)	筆記用具	フーコー (規律・訓練) の復習とウイトゲンシュタイン (思考の限界) の予習	60 分
14	ウイトゲンシュタイン (思考の限界)	筆記用具	ウイトゲンシュタイン (思考の限界) の復習とウイトゲンシュタイン (言葉の意味) の予習	60 分
15	ウイトゲンシュタイン (言葉の意味)	筆記用具	ウイトゲンシュタイン (言葉の意味) の復習	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。毎回授業の最初に、前回の課題に関する小テストを行い、テスト用紙回収後、その内容について解説する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性